



# 平成19年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成19年1月30日

上場会社名 リョービ株式会社

（コード番号：5851 東証第1部）

（URL [http://www.ryobi\\_group.co.jp/](http://www.ryobi_group.co.jp/)）

代表者 代表取締役社長 吉川 進

問合せ先責任者 取締役 常務執行役員財務担当 田中 孝雄 （TEL：(03) 3501 0511）

## 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

（内容）

- ・固定資産の減価償却の方法 ..... 年度見込額のうち当四半期分を計上しております。
- ・法人税等の計上基準 ..... 法定実効税率をベースとした予測税率により計算しております。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

## 2. 平成19年3月期第3四半期財務・業績の概況（平成18年4月1日～平成18年12月31日）

（1）経営成績（連結）の進捗状況（金額は百万円未満切捨て）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期	151,239	21.0	11,831	23.3	12,188	23.0	7,853	26.9
18年3月期第3四半期	125,025	6.6	9,594	23.7	9,912	21.5	6,189	33.6
（参考）18年3月期	171,232		13,214		13,407		8,635	

	1株当たり四半期（当期）純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益	
	円	銭	円	銭
19年3月期第3四半期	46	86	-	-
18年3月期第3四半期	36	97	-	-
（参考）18年3月期	51	31	-	-

（注）売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しています。

### [経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期のわが国経済は、企業収益の改善に伴う設備投資の増加や雇用情勢の改善などにより、ゆるやかな成長を続けています。しかし、原材料価格の高止まり、米国の経済動向など、先行きの不透明感を払拭できない状況で推移しました。

このような情勢のもとで、当社グループは積極的な販売活動を進めるとともに、ユーザーニーズをとらえた新商品の開発、原価低減や経費削減、業務の効率化など、諸施策を実行しました。その結果、当第3四半期は前年同期に比べて増収、増益となりました。

当第3四半期の売上高は1,512億39百万円（前年同期比21.0%増）となりました。事業別の売上高は、ダイカスト事業が1,020億85百万円（同23.6%増）印刷機器事業が290億37百万円（同23.6%増）住建機器事業が201億17百万円（同6.1%増）でした。ダイカスト事業は、日米の自動車メーカー向けが好調でした。印刷機器事業は、欧州、米州、アジア向けを中心に輸出が好調でした。住建機器事業は、パワーツール、建築用品ともに増加しました。

利益面では、売上高増加、原価低減の取り組みなどにより、営業利益が118億31百万円（前年同期比23.3%増）、経常利益が121億88百万円（同23.0%増）、四半期純利益が78億53百万円（同26.9%増）となりました。事業別の営業利益は、ダイカスト事業が59億76百万円（同22.4%増）、印刷機器事業が42億99百万円（同39.6%増）、住建機器事業が15億55百万円（同4.7%減）でした。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり 純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第3四半期	196,431	73,453	36.9	432 30
18年3月期第3四半期	171,359	63,025	36.8	376 08
(参考)18年3月期	177,864	66,756	37.5	398 35

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第3四半期	14,234	9,306	4,095	17,030
18年3月期第3四半期	13,593	4,263	5,855	18,814
(参考)18年3月期	15,165	7,968	6,483	16,097

[ 財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等 ]

当第3四半期の総資産は、流動資産では売上債権やたな卸資産の増加、固定資産では有形固定資産の増加などにより前期末に比べ185億67百万円増加し、1,964億31百万円となりました。

負債は、仕入債務の増加などにより前期末に比べ128億10百万円増加し、1,229億77百万円となりました。

受取手形割引高を除いた有利子負債残高は前期末に比べ25億87百万円減少し、372億35百万円となりました。

純資産は当第3四半期純利益78億53百万円の計上による増加や配当金16億75百万円の支払いによる減少などにより734億53百万円となりました。純資産から少数株主持分を差し引いた自己資本は725億28百万円となり、自己資本比率は36.9%となりました。

当第3四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権やたな卸資産の増加、法人税等の支払額の増加などがありました。四半期純利益や仕入債務などが増加したことにより前第3四半期に比べ6億41百万円増加し、142億34百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得などにより93億6百万円を支出しました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、有利子負債の返済や配当金支払いなどで40億95百万円を支出しました。

これらにより当第3四半期末の現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べ9億33百万円増加し、170億30百万円となりました。

3. 平成19年3月期の連結業績予想(平成18年4月1日 ~ 平成19年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	201,000	15,800	9,500

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 56円62銭

上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

[ 業績予想に関する定性的情報等 ]

平成18年11月10日(平成19年3月期中間決算発表時)に発表した通期業績予想に変更はありません。

全事業で売上高を伸ばし、前期比増収となる見通しです。ダイカスト事業は日米の自動車メーカー向けが好調であり、印刷機器事業は輸出を中心に好調が続く見通しです。

利益についても、売上高の増加などで増益となる見通しです。営業利益、経常利益は、過去最高額を更新する見通しです。

(参考1) 四半期個別経営成績等の概況(平成18年4月1日 ~ 平成18年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第3四半期	112,741	9,502	10,288	6,208
18年3月期第3四半期	91,854	7,139	7,822	4,750

	総資産	純資産
	百万円	百万円
19年3月期第3四半期	151,205	61,725
18年3月期第3四半期	132,922	55,303

(参考2) 平成19年3月期の個別業績予想(平成18年4月1日 ~ 平成19年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	152,000	13,500	8,100

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 48円28銭

上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

## 四半期連結（要約）貸借対照表

（単位 百万円未満切捨て）

科 目	当第3四半期末 (18.12.31)		前連結会計年度末 (18.3.31)		比較増減	前第3四半期末 (17.12.31)	
	金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
		%		%			%
（資産の部）							
流動資産	108,441	55.2	96,891	54.5	11,550	96,368	56.2
現金及び預金	15,666		17,894		2,228	20,732	
受取手形及び売掛金	49,838		42,691		7,147	40,938	
たな卸資産	36,777		31,919		4,858	30,892	
その他	6,157		4,387		1,770	3,804	
固定資産	87,990	44.8	80,973	45.5	7,017	74,991	43.8
有形固定資産	69,000		60,306		8,694	56,685	
無形固定資産	1,921		1,827		94	1,738	
投資その他の資産	17,068		18,839		1,771	16,567	
資産合計	196,431	100.0	177,864	100.0	18,567	171,359	100.0

(単位 百万円未満切捨て)

科 目	当第3四半期末 (18.12.31)		前連結会計年度末 (18.3.31)		比較増減	前第3四半期末 (17.12.31)	
	金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
(負債の部)		%		%			%
流動負債	96,721	49.2	83,588	47.0	13,133	80,957	47.2
支払手形及び買掛金	49,661		35,818		13,843	37,707	
短期借入金等	23,360		26,425		3,065	26,410	
その他	23,699		21,344		2,355	16,839	
固定負債	26,256	13.4	26,579	15.0	323	26,482	15.5
長期借入金	13,874		13,397		477	13,807	
その他	12,381		13,181		800	12,675	
負債合計	122,977	62.6	110,167	62.0	12,810	107,439	62.7
(純資産の部)							
株主資本	73,512	37.4	-	-	-	-	-
資本金	18,472	9.4	-	-	-	-	-
資本剰余金	23,750	12.1	-	-	-	-	-
利益剰余金	32,019	16.3	-	-	-	-	-
自己株式	729	0.4	-	-	-	-	-
評価・換算差額等	983	0.5	-	-	-	-	-
その他有価証券評価差額金	5,271	2.7	-	-	-	-	-
繰延ヘッジ損益	0	0.0	-	-	-	-	-
土地再評価差額金	626	0.3	-	-	-	-	-
為替換算調整勘定	6,880	3.5	-	-	-	-	-
少数株主持分	925	0.5	-	-	-	-	-
純資産合計	73,453	37.4	-	-	-	-	-
負債及び純資産合計	196,431	100.0	-	-	-	-	-
(少数株主持分)							
少数株主持分	-	-	940	0.5	-	894	0.5
(資本の部)							
資本金	-	-	18,472	10.4	-	18,472	10.8
資本剰余金	-	-	23,680	13.3	-	23,680	13.8
利益剰余金	-	-	25,885	14.5	-	23,439	13.7
土地再評価差額金	-	-	626	0.3	-	626	0.3
その他有価証券評価差額金	-	-	6,228	3.5	-	5,310	3.1
為替換算調整勘定	-	-	7,370	4.1	-	7,739	4.5
自己株式	-	-	766	0.4	-	763	0.4
資本合計	-	-	66,756	37.5	-	63,025	36.8
負債、少数株主持分及び資本合計	-	-	177,864	100.0	-	171,359	100.0

## 四半期連結（要約）損益計算書

（単位 百万円未満切捨て）

科 目	当第3四半期 (18.4.1～18.12.31)		前第3四半期 (17.4.1～17.12.31)		比較増減	前連結会計年度 (17.4.1～18.3.31)	
	金 額	百分比	金 額	百分比		金 額	百分比
		%		%			%
売 上 高	151,239	100.0	125,025	100.0	26,214	171,232	100.0
売 上 原 価	121,655	80.4	98,412	78.7	23,243	135,088	78.9
売 上 総 利 益	29,584	19.6	26,612	21.3	2,972	36,143	21.1
販売費及び一般管理費	17,752	11.7	17,018	13.6	734	22,929	13.4
営 業 利 益	11,831	7.8	9,594	7.7	2,237	13,214	7.7
営 業 外 収 益	1,388	1.0	1,285	1.0	103	1,631	0.9
営 業 外 費 用	1,032	0.7	966	0.8	66	1,438	0.8
経 常 利 益	12,188	8.1	9,912	7.9	2,276	13,407	7.8
特 別 利 益	939	0.6	17	0.0	922	70	0.0
特 別 損 失	945	0.6	279	0.2	666	420	0.2
税金等調整前四半期（当期）純利益	12,183	8.1	9,651	7.7	2,532	13,057	7.6
法 人 税 等	4,334	2.9	3,292	2.6	1,042	4,206	2.5
少 数 株 主 損 益	5	0.0	169	0.1	174	214	0.1
四半期（当期）純利益	7,853	5.2	6,189	5.0	1,664	8,635	5.0

## 四半期連結（要約）キャッシュ・フロー計算書

（単位 百万円未満切捨て）

科 目	当第3四半期 (18.4.1～18.12.31)	前第3四半期 (17.4.1～17.12.31)	前連結会計年度 (17.4.1～18.3.31)
	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期（当期）純利益	12,183	9,651	13,057
減価償却費	5,698	4,427	6,072
売上債権の増減額（増加： ）	7,030	2,489	4,156
たな卸資産の増減額（増加： ）	4,811	3,083	4,025
仕入債務の増減額（減少： ）	13,752	6,917	4,952
その他	261	897	400
小 計	19,530	14,526	16,300
利息及び配当金の受取額	238	183	212
利息の支払額	568	501	673
法人税等の支払額	4,965	614	673
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,234	13,593	15,165
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	11,513	4,573	8,196
その他	2,207	310	227
投資活動によるキャッシュ・フロー	9,306	4,263	7,968
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金等の純増減額（減少： ）	952	801	442
長期借入れによる収入	4,055	5,823	6,347
長期借入金の返済による支出	5,697	9,635	11,142
配当金の支払額	1,675	1,254	1,254
その他	174	12	9
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,095	5,855	6,483
現金及び現金同等物に係る換算差額	101	35	80
現金及び現金同等物の増減額（減少： ）	933	3,510	794
現金及び現金同等物の期首残高	16,097	15,303	15,303
現金及び現金同等物の四半期末（期末）残高	17,030	18,814	16,097

# セグメント情報

## 事業の種類別セグメント情報

(単位 百万円未満切捨て)

	当第3四半期 (18.4.1～18.12.31)					
	ダイ カスト	印 刷 機 器	住 建 機 器	計	消去又 は全社	連 結
売 上 高						
(1)外部顧客に対する売上高	102,085	29,037	20,117	151,239	-	151,239
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	185	-	1	186	( 186)	-
計	102,270	29,037	20,118	151,426	( 186)	151,239
営 業 費 用	96,294	24,737	18,562	139,594	( 186)	139,407
営 業 利 益	5,976	4,299	1,555	11,831	0	11,831

(単位 百万円未満切捨て)

	前第3四半期 (17.4.1～17.12.31)					
	ダイ カスト	印 刷 機 器	住 建 機 器	計	消去又 は全社	連 結
売 上 高						
(1)外部顧客に対する売上高	82,561	23,501	18,962	125,025	-	125,025
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	158	-	2	160	( 160)	-
計	82,719	23,501	18,965	125,185	( 160)	125,025
営 業 費 用	77,836	20,422	17,333	115,592	( 160)	115,431
営 業 利 益	4,882	3,078	1,632	9,593	0	9,594

(単位 百万円未満切捨て)

	前連結会計年度 (17.4.1～18.3.31)					
	ダイ カスト	印 刷 機 器	住 建 機 器	計	消去又 は全社	連 結
売 上 高						
(1)外部顧客に対する売上高	114,319	32,306	24,605	171,232	-	171,232
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	212	-	2	214	( 214)	-
計	114,532	32,306	24,608	171,447	( 214)	171,232
営 業 費 用	107,370	28,021	22,841	158,233	( 215)	158,018
営 業 利 益	7,161	4,285	1,766	13,213	0	13,214

(注)1. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっている。

2. 各事業区分の主要な製品

ダイカスト……ダイカスト製品、アルミニウム鋳物

印刷機器……オフセット印刷機、編集ソフト等

住建機器……電動工具、園芸用機器、ドアクローザ、ヒンジ、建築金物等